

Numbering code		U-LAS06 10007 LJ43			
Course title <English>	経済学Ⅰ Economics I		Affiliated department, Job title,Name	Graduate School of Human and Environmental Studies Professor, DAIKOKU KOUJI	
Group	Humanities and Social Sciences		Field(Classification)	Jurisprudence, Politics and Economics(Foundations)	
Language	Japanese		Old group	Group A	Number of credits 2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Lecture		Course offered year/period 2019・First semester
Day/period	Mon.2/Mon.3		Target year	All students	Eligible students For all majors

[Outline and Purpose of the Course]

規格化された経済学をそのまま祖述するのではなく、経済学の歴史を、おもに貨幣という視角から通覧することによって、経済学への導入を図る。経済学の歴史を通覧すると、マルクス経済学と近代経済学の2つだけでなく、学派の数だけ3つも4つも、あるいはそれ以上に理論が存在することを思い知るであろう。しかしこのことは、理論が時代と地域の特殊性に制約されるという、ありふれた相対主義を意味するわけではない。この講義では、経済学の隣接諸分野をも射程に入れて、異分野にまたがる初学者を経済学に導き入れる工夫をする。それと同時に、経済学のあらたな対立軸を模索することを試みたいと思う。前期の経済学Ⅰでは、経済とは何か、経済人とは何か、貨幣とは何か、という本質的問いを古典古代にまで遡って追究する。

[Course Goals]

教科書化された既成の経済学の断片的知識を習得するのではなく、経済とは何か、貨幣とは何か、資本主義とは何かという本質を問う姿勢を身につける。前期はおもに、古代・中世にまで遡ることによって、経済(オイコノミア)の源流=本質を探ることを目指す。

[Course Schedule and Contents]

以下のようなテーマについて、各1～2回で考察する。

1. 経済学の方法
 - 考古学と系譜学
 - 共和主義研究、経済人類学、世界システム論
 - 貨幣数量説と貨幣的経済理論
2. アリストテレスと貨幣の無限
 - シュンペーターとマルクス
 - プラトン
 - アリストテレス
3. 中世の経済思想
 - トマス・アキナス
 - オレームとコペルニクス
 - グreshamの法則
4. 重商主義と貨幣の資本機能
 - 重金主義
 - 貿易差額主義
 - 紙幣重商主義

なお、必ずしも上記計画通り進まない場合がある。

Continue to 経済学Ⅰ(2)

経済学Ⅰ(2)

[Class requirement]

経済学（大黒担当）の連続した履修が望ましい。

[Method, Point of view, and Attainment levels of Evaluation]

前期試験の成績による。

[Textbook]

Not used

[Reference book, etc.]

（Reference book）

大黒弘慈 『模倣と権力の経済学：貨幣の価値を変えよ（思想史篇）』（岩波書店）ISBN:978-4000253208

大黒弘慈 『マルクスと贋金づくりたち：貨幣の価値を変えよ（理論篇）』（岩波書店）ISBN:978-4000253215

その他、授業中に適宜紹介する。

[Regarding studies out of class (preparation and review)]

比較的早い時期に、経済学史を通覧した簡便な本を通読しておくことが望ましい。経済学史上の古典を一つ選び、講義の進行とともに読み進めると学習効果が上がる。

[Others (office hour, etc.)]

詳細な授業計画を、初回に配布する予定である。